

# 地域住民の「みどり」意識

——山村地域にある高遠町での事例——

菅原 聰

信州大学農学部 森林経理学研究室

## I 研究の目的

わが国において森林環境に対する住民意識は、その居住地の状況によって大きく異なっており、山村地域住民の森林意識は具体的体験に基づくところが多いことについてはすでに明らかにしたところである<sup>1,4-9)</sup>。

しかし、その後森林をめぐる社会情勢はさらに変化しており、行政の面でも林業行政から「みどり」行政への大きな転換がみられるようになった。それにともなって、山村地域住民の森林意識も変化してきたようにみえたので、山村地域住民の「みどり」意識を調査研究することによって、山村地域住民の森林意識の変化を探ることを本研究の目的とした。

## II 研究の方法

### 1 調査地の選定

山村地域住民の「みどり」意識を知るためには、いくつかの山村に対して調査することが必要である。しかし、時間的な制約のなかで調査を進めたいと考えて、信州大学農学部の近くに位置し、「みどり」意識をきめ細かく調査できると判断された高遠町だけを調査地として選定した。

長野県上伊那郡高遠町は南信地方のカラマツ林業の中心地であり、森林率85%、人工林率61%、人工林の76%までがカラマツ林になっていて、積極的にカラマツ林業が営まれてきたところである。高遠町は中央構造線に沿う南北に細長い町であり、居住地区は高遠地区・河南地区・長藤地区・藤沢地区・三義地区に大別される。江戸時代に内藤藩の高遠城があり、今ではその城趾公園がコヒガンザクラの名所となっている「高遠地区」が高遠町の中心であり、この地区に住んでいる人には比較的“都市型”の生活を送っている人が多い。その南に位置する三峯川沿いの「河南地区」には肥沃な耕地が多く、この地区では“農村型”の生活が営まれている。また、町内には藤沢川と山室川とが南流して三峯川に注いでおり、藤沢川に沿って「長藤地区」と「藤沢地区」とが、山室川に沿って「三義地区」がある。これらの地区は森林にとり囲まれており、かつては養蚕と製炭とによって“山村型”の生活が営まれていた。しかし、現在では近くの伊那市や茅野市などへ通勤している人が多く、森林とのかかわりを低下させてきている。

このように、高遠町はカラマツ林業地帯に位置しているだけでなく、町内においてもそれ

それぞれの地区で生活形態をいくらか異にしているので、「みどり」意識についてもきめ細かく把握できると考えたのである。

## 2 調査票

これまでに実施してきた調査の結果<sup>1-12)</sup>ともあわせて考察できるように調査内容については配慮した。調査内容は統計数理研究所石田正次教授・山形大学北村昌美教授・千葉大学赤坂信助手など森林環境研究会のメンバーによって検討され、決定された。

調査内容については、後章の「調査の結果」において示すので、重複を避けるためにここでは省略しておく。

## 3 調査日程

1986年6月から7月にかけて、高遠町での予備調査を行い、町役場や町森林組合などと打ち合わせをした。それと並行して調査内容の検討を行い、調査票を作成した。8月になって調査対象者の抽出を行い、引続いてアンケート調査を実施した。調査結果の集計および取りまとめは9月以降に研究室の専攻学生の木下浩司君によって行われた。

## 4 調査の実施

高遠町民の「みどり」意識を調査するために、今まで行ってきた森林意識調査<sup>1-12)</sup>と同じように、アンケート調査法をとることにした。

### (1) 調査対象者の抽出

調査対象者を「高遠地区」・「河南地区」・「長藤・藤沢地区」から抽出することにした。それらの各地区の選挙人名簿からランダム・スタートで15人おきに系統的に標本抽出し、「高遠地区」で163人、「河南地区」で92人、「長藤・藤沢地区」で153人、合計408人を調査対象者として決定した。

### (2) アンケート調査の実施

アンケート調査は信州大学農学部森林経理学研究室の専攻学生が行った。調査者が調査対象者宅を各戸訪問して調査票を配布し、数日後に記入済みの調査票を回収した。

調査の実施にあたっては、町役場の全面的な御協力を得た。すなわち、有線放送を通じて、調査の主旨や調査票配布日などを全町民に伝えてもらったので、調査対象者の方がたの広い御協力を得ることができたし、また、住宅地図を借りることができたので、調査対象者の住宅を見つけ出すことが容易になった。また、各区の区長の方がたには非常にお世話になった。すなわち、調査対象者が筆頭者であれば、住宅地図だけで充分であるが、調査対象者は筆頭者以外にもおよんだので、それらの方がたの住宅を確かめるのに、区長の方がたの御協力は非常に有効であった。

このようにしてアンケート調査を行ったが、どうしても調査できない調査対象者もあった。参考のために調査不能の理由を示しておくことと次のようである。

高遠地区——病気のため2人、字が読めないから1人、アンケートに対して全面拒否3人、所在不明3人、転居2人、高齢すぎるから1人、多忙だから4人、不在14人、計30人  
河南地区——高齢すぎるから2人、転居4人、所在不明1人、アンケートに対して全面拒否1人、その他1人、計9人

長藤・藤沢地区——入院中3人、転居3人、不在3人、その他1人、計10人

これらの結果、標本抽出された調査対象者に対しての調査回答者の比率は、「高遠地区」

で82%、「河南地区」で90%、「長藤・藤沢地区」で93%、全体で88%であった。

### III 調査の結果

アンケート調査の結果を質問番号順に、年齢別（20～39歳，40～59歳，60歳以上），性別（男性，女性），地区別（高遠，河南，長藤・藤沢），森林保有別（保有，無保有）に整理しておくのと次のようである。

問1 あなたは遊びに出かけるとしたら，次のうちどこにいちばん行きたいと思いますか。

1. 海 2. 山 3. 湖 4. 森

		1	2	3	4	*	計
年齢別	20～39	59(60.2)	14(14.3)	15(15.3)	10(10.2)	0	98
	40～59	58(39.2)	52(35.1)	20(13.5)	17(11.5)	1(0.7)	148
	60～	43(38.1)	43(38.1)	11(9.7)	15(13.2)	1(0.9)	113
性別	男性	78(50.0)	44(28.2)	17(10.9)	17(10.9)	0	156
	女性	82(40.4)	65(32.0)	29(14.3)	25(12.3)	2(1.0)	203
地区別	高遠	46(34.6)	46(34.6)	18(13.5)	23(17.3)	0	133
	河南	40(48.2)	26(31.3)	10(12.1)	7(8.4)	0	83
	長藤・藤沢	74(51.7)	37(25.9)	18(12.6)	12(8.4)	2(1.4)	143
保有別	有	116(47.1)	72(29.3)	28(11.4)	29(11.8)	1(0.4)	246
	無	44(39.0)	37(32.7)	18(15.9)	13(11.5)	1(0.9)	113
計		160(44.5)	109(30.4)	46(12.8)	42(11.7)	2(0.6)	359

問2 あなたは散歩するとしたら，次のうちどこにいちばん行きたいと思いますか。

1. 商店街 2. 住宅街 3. 公園 4. 近くの自然

		1	2	3	4	*	計
年齢別	20～39	9(9.2)	0	30(30.6)	59(60.2)	0	93
	40～59	9(6.1)	0	24(16.2)	115(77.7)	0	148
	60～	6(5.3)	1(0.9)	20(17.7)	85(75.2)	1(0.9)	113
性別	男性	9(5.8)	0	32(20.5)	114(73.1)	1(0.7)	156
	女性	15(7.4)	1(0.5)	42(20.7)	145(71.4)	0	203
地区別	高遠	6(4.5)	0	28(21.1)	99(74.4)	0	133
	河南	8(9.6)	0	15(18.1)	59(71.1)	1(1.2)	83
	長藤・藤沢	10(7.0)	1(0.7)	31(21.7)	101(70.6)	0	143
保有別	有	19(7.7)	1(0.4)	52(21.1)	173(70.4)	1(0.4)	246
	無	5(4.4)	0	22(19.5)	86(76.1)	0	113
計		24(6.7)	1(0.3)	74(20.6)	259(72.1)	1(0.3)	359

問3 あなたにとって次のうちどんな公園がいちばん望ましいと思いますか。

1. 芝生や花壇のある公園
2. 森や林のある公園
3. スポーツ施設のある公園
4. 池や流れのある公園

		1	2	3	4	*	計
年齢別	20 ~ 39	22(22.5)	35(35.7)	16(16.3)	25(25.5)	0	98
	40 ~ 59	34(22.9)	58(39.2)	13 (8.8)	42(28.4)	1 (0.7)	148
	60 ~	31(27.5)	39(34.5)	11 (9.7)	31(27.4)	1 (0.9)	113
性別	男 性	23(14.7)	61(39.1)	21(13.5)	50(32.1)	1 (0.6)	156
	女 性	64(31.5)	71(34.9)	19 (9.4)	48(23.7)	1 (0.5)	203
地区別	高 遠	26(19.5)	55(41.4)	14(10.5)	37(27.8)	1 (0.8)	133
	河 南	21(25.3)	30(36.1)	11(13.3)	20(24.1)	1 (1.2)	83
	長藤・藤沢	40(28.0)	47(32.8)	15(10.5)	41(28.7)	0	143
保有別	有	64(26.0)	87(35.4)	27(11.0)	66(26.8)	2 (0.8)	246
	無	23(20.4)	45(39.8)	13(11.5)	32(28.3)	0	113
計		87(24.2)	132(36.8)	40(11.1)	98(27.3)	2 (0.6)	359

問4 あなたは野草摘みや山菜採り、きのこ狩りにでかけることがありますか。

1. よく行く
2. たまに行くことがある
3. 行くことはない

		1	2	3	*	計
年齢別	20 ~ 39	20(20.4)	58(59.2)	20(20.4)	0	98
	40 ~ 59	62(41.9)	71(48.0)	15(10.1)	0	148
	60 ~	36(31.9)	56(49.5)	20(17.7)	1 (0.9)	113
性別	男 性	57(36.5)	80(51.3)	19(12.2)	0	156
	女 性	61(30.1)	105(51.7)	36(17.7)	1 (0.5)	203
地区別	高 遠	28(21.1)	74(55.6)	31(23.3)	0	133
	河 南	36(43.4)	38(45.8)	9(10.8)	0	83
	長藤・藤沢	54(37.7)	73(51.1)	15(10.5)	1 (0.7)	143
保有別	有	87(35.4)	129(52.4)	30(12.2)	0	246
	無	31(27.4)	56(49.6)	25(22.1)	1 (0.9)	113
計		118(32.9)	185(51.5)	55(15.3)	1 (0.3)	359

問5 あなたは春の新緑と秋の紅葉とどちらが好きですか。

1. 春の新緑
2. 秋の紅葉

		1	2	*	計
年齢別	20 ~ 39	66(67.3)	32(32.7)	0	98
	40 ~ 59	86(58.1)	61(41.2)	1 (0.7)	148
	60 ~	75(66.3)	35(31.0)	3 (2.7)	113
性別	男性	97(62.2)	57(36.5)	2 (1.3)	156
	女性	130(64.0)	71(35.0)	2 (1.0)	203
地区別	高 遠	85(63.9)	46(34.6)	2 (1.5)	133
	河 南	54(65.1)	27(32.5)	2 (2.4)	83
	長藤・藤沢	88(61.5)	55(38.5)	0	143
保有別	有	158(64.2)	86(35.0)	2 (0.8)	246
	無	69(61.0)	42(37.2)	2 (1.8)	113
計		227(63.2)	128(35.7)	4 (1.1)	359

問6 あなたにとってもっとも親しみのある木の名前を五つあげて下さい。

マ	ツ	268	モ	ミ	25	ナ	シ	3
サ	ク	157	カ	キ	21	ナ	ナ	カ
ス		148	ボ	ブ	8	ト	ウ	ヒ
ヒ	ノ	141	リ	ン	8	シ	ナ	ノ
カ	ラ	118	エ	ン	7	ア	オ	キ
カ	エ	112	ヤ	ナ	6			
シ	ラ	88	コ	ウ	5	(そ	の	他)
ク		82	モ		5	無	回	答
イ	チ	76	ト	チ	4			
ケ	ヤ	75	ブ		4	計		1,795
ウ		65	ホ	ウ	4			
ツ	ツ	47	モ	ミ	3			

問7 そのうちでいちばん好きな木は何ですか。

マ		85	ツ	ツ	7	ト	チ	ノ
サ	ク	55	ウ		5	ブ		ナ
シ	ラ	30	ボ	ブ	4	ホ	ウ	ノ
ヒ	ノ	27	ク		4			キ
カ	エ	26	カ		4	そ	の	他
カ	ラ	18	リ	ン	2	無	回	答
イ	チ	17	ナ	ナ	2			
ケ	ヤ	14	モ		1	計		359
ス		11	コ	ウ	1			

問8 あなたは「農場や牧場や森が入りまじっている人手の加わった自然」と「まったく人手の加わらない森林や荒地のありのままの自然」とどちらが好ましいと思いますか。

1. 人手の加わった自然
2. ありのままの自然

		1	2	*	計
年齢別	20 ~ 39	44(44.9)	54(55.1)	0	93
	40 ~ 59	82(55.4)	65(43.9)	1 (0.7)	148
	60 ~	60(53.1)	53(46.9)	0	113
性別	男性	74(47.4)	82(52.6)	0	156
	女性	112(55.2)	90(44.3)	1 (0.5)	203
地区別	高遠	59(44.3)	73(54.9)	1 (0.8)	133
	河南	48(57.8)	35(42.2)	0	83
	長藤・藤沢	79(55.2)	64(44.8)	0	143
保有別	有	138(56.1)	108(43.9)	0	246
	無	48(42.5)	64(56.6)	1 (0.9)	113
計		186(51.8)	172(47.9)	1 (0.3)	359

問9 あなたは「森や林、森林を美しく維持するためには、人間の手を加えなければならない」という意見と「森林を美しく維持するためには、人間の手を加えるべきではない」という意見と、どちらが正しいと思いますか。

1. 人間の手を加えなければならない
2. 人間の手を加えるべきではない

		1	2	*	計
年齢別	20 ~ 39	68(69.4)	30(30.6)	0	98
	40 ~ 59	121(81.7)	25(16.9)	2 (1.4)	148
	60 ~	99(87.6)	14(12.4)	0	113
性別	男性	125(80.1)	31(19.9)	0	156
	女性	163(80.3)	38(18.7)	2 (1.0)	203
地区別	高遠	100(75.2)	31(23.3)	2 (1.5)	133
	河南	69(83.1)	14(16.9)	0	83
	長藤・藤沢	119(83.2)	24(16.8)	0	143
保有別	有	205(83.3)	40(16.3)	1 (0.4)	246
	無	83(73.4)	29(25.7)	1 (0.9)	113
計		288(80.2)	69(19.2)	2 (0.6)	359

問10 あなたは「みどり」という言葉からどのような場所や風景を思い浮かべますか。次のうちから一つだけ選んで下さい。

1. 森林のみどり
2. 野原のみどり
3. 水辺のみどり
4. 田や畑のみどり
5. 神社・寺の境内のみどり
6. 公園のみどり
7. 街路樹のみどり
8. 庭やベランダ・室内のみどり

		1	2	3	4	5	6	7	8	*	計
年齢別	20 ~ 39	69 (70.4)	12 (12.2)	3 (3.1)	8 (8.2)	2 (2.0)	3 (3.1)	1 (1.0)	0	0	98
	40 ~ 59	103 (69.5)	19 (12.8)	5 (3.4)	10 (6.8)	3 (2.0)	5 (3.4)	1 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.7)	148
	60 ~	60 (53.1)	11 (9.7)	4 (3.5)	15 (13.3)	9 (8.0)	3 (2.7)	7 (6.1)	3 (2.7)	1 (0.9)	113
性別	男性	112 (71.8)	19 (12.2)	5 (3.2)	5 (3.2)	7 (4.5)	3 (1.9)	4 (2.6)	1 (0.6)	0	156
	女性	120 (59.1)	23 (11.3)	7 (3.5)	28 (13.8)	7 (3.5)	8 (3.9)	5 (2.4)	3 (1.5)	2 (1.0)	203
地区別	高遠	74 (55.6)	21 (15.8)	7 (5.2)	15 (11.3)	5 (3.8)	7 (5.2)	1 (0.8)	2 (1.5)	1 (0.8)	133
	河南	56 (67.6)	7 (8.4)	1 (1.2)	6 (7.2)	4 (4.8)	3 (3.6)	4 (4.8)	2 (2.4)	0	83
	長藤・藤沢	102 (71.3)	14 (9.8)	4 (2.8)	12 (8.4)	5 (3.5)	1 (0.7)	4 (2.8)	0	1 (0.7)	143
保有別	有	161 (65.4)	25 (10.2)	9 (3.7)	26 (10.5)	10 (4.1)	5 (2.0)	8 (3.3)	2 (0.8)	0	246
	無	71 (62.8)	17 (15.0)	3 (2.7)	7 (6.2)	4 (3.5)	6 (5.3)	1 (0.9)	2 (1.8)	2 (1.8)	113
計		232 (64.6)	42 (11.7)	12 (3.3)	33 (9.2)	14 (3.9)	11 (3.1)	9 (2.5)	4 (1.1)	2 (0.6)	359

問11 あなたは身近な「みどり」を今後どのように利用していきたいと思いますか。次のうちから一つだけ選んで下さい。

1. 家族や隣近所の語らいの場として
2. 自然観察や学習の場として
3. 散歩の場として
4. こころの安らぎを求める場として
5. 野草摘み・山菜採りの場として
6. ハイキング・ジョギングなどのスポーツの場として

		1	2	3	4	5	6	*	計
年 齢 別	20 ~ 39	4 (4.1)	7 (7.1)	8 (8.2)	54 (55.1)	14 (14.3)	11 (11.2)	0	98
	40 ~ 59	11 (7.4)	17 (11.5)	8 (5.4)	67 (45.2)	39 (26.4)	5 (3.4)	1 (0.7)	148
	60 ~	14 (12.4)	5 (4.4)	12 (10.6)	44 (39.0)	37 (32.7)	1 (0.9)	0	113
性 別	男 性	7 (4.5)	18 (11.5)	13 (8.3)	76 (48.7)	33 (21.2)	9 (5.8)	0	156
	女 性	22 (10.8)	11 (5.4)	15 (7.4)	89 (43.9)	57 (28.1)	8 (3.9)	1 (0.5)	203
地 区 別	高 遠	9 (6.8)	10 (7.5)	10 (7.5)	73 (54.8)	25 (18.8)	5 (3.8)	1 (0.8)	133
	河 南	6 (7.2)	9 (10.9)	5 (6.0)	34 (41.0)	25 (30.1)	4 (4.8)	0	83
	長藤・藤沢	14 (9.8)	10 (7.0)	13 (9.1)	58 (40.5)	40 (28.0)	8 (5.6)	0	143
保有別	有	24 (9.8)	20 (8.1)	19 (7.7)	105 (42.7)	68 (27.6)	10 (4.1)	0	246
	無	5 (4.4)	9 (8.0)	9 (8.0)	60 (53.1)	22 (19.4)	7 (6.2)	1 (0.9)	113
計		29 (8.1)	29 (8.1)	28 (7.8)	165 (45.9)	90 (25.1)	17 (4.7)	1 (0.3)	359



問12 あなたは日ごろ接したり目に触れたりする「みどり」に満足していますか、それとも満足していませんか。次のうちから一つだけ選んで下さい。

1. 非常に満足している
2. やや満足している
3. 満足していない

		1	2	3	*	計
年齢別	20 ~ 39	46(46.9)	42(42.9)	9 (9.2)	1 (1.0)	98
	40 ~ 59	80(54.0)	59(39.9)	9 (6.1)	0	148
	60 ~	60(53.1)	39(34.5)	13(11.5)	1 (0.9)	113
性別	男 性	72(46.1)	67(43.0)	16(10.3)	1 (0.6)	156
	女 性	114(56.2)	73(35.9)	15 (7.4)	1 (0.5)	203
地区別	高 遠	65(48.8)	54(40.6)	13 (9.8)	1 (0.8)	133
	河 南	49(59.1)	27(32.5)	7 (8.4)	0	83
	長藤・藤沢	72(50.3)	59(41.3)	11 (7.7)	1 (0.7)	143
保有別	有	135(54.9)	93(37.8)	17 (6.9)	1 (0.4)	246
	無	51(45.1)	47(41.6)	14(12.4)	1 (0.9)	113
計		186(51.8)	140(39.0)	31 (8.6)	2 (0.6)	359

問13 あなたが森林でいちばん心ひかれるものを次のうちから一つだけ選んで下さい。

1. 四季の変化
2. 水の流れ
3. 木や土の香
4. 小鳥のさえずり
5. 森の静けさ
6. 木々の生長

		1	2	3	4	5	6	*	計
年 齢 別	20 ~ 39	57 (58.1)	3 (3.1)	8 (8.2)	8 (8.2)	20 (20.4)	1 (1.0)	1 (1.0)	98
	40 ~ 59	100 (67.5)	5 (3.4)	11 (7.4)	13 (8.8)	10 (6.8)	9 (6.1)	0	148
	60 ~	63 (55.7)	4 (3.5)	10 (8.9)	12 (10.6)	8 (7.1)	15 (13.3)	1 (0.9)	113
性 別	男 性	87 (55.8)	5 (3.2)	13 (8.4)	12 (7.7)	23 (14.7)	15 (9.6)	1 (0.6)	156
	女 性	133 (65.5)	7 (3.5)	16 (7.9)	21 (10.3)	15 (7.4)	10 (4.9)	1 (0.5)	203
地 区 別	高 遠	84 (63.1)	5 (3.8)	12 (9.0)	14 (10.5)	15 (11.3)	2 (1.5)	1 (0.8)	133
	河 南	50 (60.2)	1 (1.2)	5 (6.0)	4 (4.8)	12 (14.5)	11 (13.3)	0	83
	長藤・藤沢	86 (60.1)	6 (4.2)	12 (8.4)	15 (10.5)	11 (7.7)	12 (8.4)	1 (0.7)	143
保 有 別	有	156 (63.5)	6 (2.4)	19 (7.7)	19 (7.7)	22 (8.9)	23 (9.4)	1 (0.4)	246
	無	64 (56.6)	6 (5.3)	10 (8.9)	14 (12.4)	16 (14.1)	2 (1.8)	1 (0.9)	113
計		220 (61.2)	12 (3.3)	29 (8.1)	33 (9.2)	38 (10.6)	25 (7.0)	2 (0.6)	359

問14 森林といちばん関係が深いと思うものを次のうちから一つだけ選んで下さい。

1. 木材
2. 水
3. 神秘
4. 小鳥
5. 酸素
6. きのこと

		1	2	3	4	5	6	*	計
年齢別	20～39	30 (30.6)	20 (20.4)	6 (6.1)	15 (15.3)	22 (22.5)	3 (3.1)	2 (2.0)	98
	40～59	47 (31.7)	54 (36.5)	9 (6.1)	10 (6.8)	18 (12.2)	10 (6.7)	0	148
	60～	36 (31.9)	41 (36.2)	5 (4.4)	4 (3.5)	10 (8.9)	16 (14.2)	1 (0.9)	113
性別	男性	60 (38.5)	49 (31.4)	8 (5.1)	5 (3.2)	24 (15.4)	9 (5.8)	1 (0.6)	156
	女性	53 (26.1)	66 (32.5)	12 (5.9)	24 (11.8)	26 (12.8)	20 (9.9)	2 (1.0)	203
地区別	高遠	37 (27.8)	46 (34.6)	7 (5.3)	13 (9.8)	18 (13.5)	10 (7.5)	2 (1.5)	133
	河南	26 (31.4)	28 (33.7)	2 (2.4)	10 (12.1)	9 (10.8)	8 (9.6)	0	83
	長藤・藤沢	50 (35.0)	41 (28.6)	11 (7.7)	6 (4.2)	23 (16.1)	11 (7.7)	1 (0.7)	143
保有別	有	81 (33.0)	78 (31.7)	11 (4.5)	18 (7.3)	34 (13.8)	22 (8.9)	2 (0.8)	246
	無	32 (28.3)	37 (32.7)	9 (8.0)	11 (9.7)	16 (14.2)	7 (6.2)	1 (0.9)	113
計		113 (31.5)	115 (32.0)	20 (5.6)	29 (8.1)	50 (13.9)	29 (8.1)	3 (0.8)	359

問15 森林とあまり関係のないものはどれですか。次のうちから一つだけ選んで下さい。

1. 木 材
2. 水
3. 神 秘
4. 小 鳥
5. 酸 素
6. き の こ

		1	2	3	4	5	6	*	計
年 齡 別	20 ~ 39	19 (19.4)	5 (5.1)	45 (45.9)	3 (3.1)	7 (7.1)	16 (16.3)	3 (3.1)	98
	40 ~ 59	6 (4.1)	4 (2.7)	77 (52.0)	4 (2.7)	15 (10.1)	41 (27.7)	1 (0.7)	148
	60 ~	9 (8.0)	7 (6.2)	60 (53.1)	8 (7.1)	7 (6.2)	19 (16.8)	3 (2.6)	113
性 別	男 性	13 (8.3)	5 (3.2)	89 (57.1)	7 (4.5)	9 (5.8)	32 (20.5)	1 (0.6)	156
	女 性	21 (10.3)	11 (5.4)	93 (45.8)	8 (3.9)	20 (9.9)	44 (21.7)	6 (3.0)	203
地 区 別	高 遠	13 (9.8)	7 (5.3)	65 (48.8)	2 (1.5)	7 (5.3)	35 (26.3)	4 (3.0)	133
	河 南	8 (9.7)	4 (4.8)	43 (51.8)	5 (6.0)	9 (10.8)	14 (16.9)	0	83
	長藤・藤沢	13 (9.1)	5 (3.5)	74 (51.7)	8 (5.6)	13 (9.1)	27 (18.9)	3 (2.1)	143
保 有 別	有	24 (9.7)	11 (4.5)	126 (51.3)	12 (4.9)	21 (8.5)	47 (19.1)	5 (2.0)	246
	無	10 (8.9)	5 (4.4)	56 (49.5)	3 (2.7)	8 (7.1)	29 (25.6)	2 (1.8)	113
計		34 (9.5)	16 (4.5)	182 (50.7)	15 (4.1)	29 (8.1)	76 (21.1)	7 (2.0)	359

問16 森林は大切なものだと言われてますが、あなたご自身、森林はどのような意味で大切だとお考えですか。次のうちから一つだけ選んで下さい。

1. 木材の生産    2. 生活環境の保全    3. 自然の保全    4. レクリエーション

		1	2	3	4	*	計
年齢別	20～39	3 (3.1)	73(74.5)	15(15.3)	7 (7.1)	0	98
	40～59	12 (8.1)	123(83.1)	6 (4.1)	7 (4.7)	0	148
	60～	13(11.5)	83(73.4)	6 (5.3)	10 (8.9)	1 (0.9)	113
性別	男性	16(10.3)	128(82.0)	10 (6.4)	2 (1.3)	0	156
	女性	12 (5.9)	151(74.4)	17 (8.4)	22(10.8)	1 (0.5)	203
地区別	高遠	4 (3.0)	109(81.9)	13 (9.8)	7 (5.3)	0	133
	河南	10(12.1)	62(74.7)	5 (6.0)	6 (7.2)	0	83
	長藤・藤沢	14 (9.8)	108(75.5)	9 (6.3)	11 (7.7)	1 (0.7)	143
保有別	有	21 (8.6)	191(77.6)	17 (6.9)	17 (6.9)	0	246
	無	7 (6.2)	88(77.8)	10 (8.9)	7 (6.2)	1 (0.9)	113
計		28 (7.8)	279(77.7)	27 (7.5)	24 (6.7)	1 (0.3)	359

問17 あなたは森林の大切さについて主として何から知識を得ましたか。一つだけ選んで下さい。

1. 新聞・テレビ・ラジオから    2. 学校で学んだ    3. 本で読んだ  
4. 身近な人から聞いた    5. 自分の体験から

		1	2	3	4	5	*	計
年齢別	20～39	33(33.6)	17(17.4)	9 (9.2)	10(10.2)	28(28.6)	1 (1.0)	98
	40～59	37(25.0)	11 (7.4)	4 (2.7)	16(10.8)	80(54.1)	0	148
	60～	27(23.9)	8 (7.1)	5 (4.4)	8 (7.1)	62(54.8)	3 (2.7)	113
性別	男性	30(19.2)	17(10.9)	12 (7.7)	12 (7.7)	85(54.5)	0	156
	女性	67(33.0)	19 (9.4)	6 (3.0)	22(10.8)	85(41.8)	4 (2.0)	203
地区別	高遠	40(30.0)	17(12.8)	11 (8.3)	11 (8.3)	52(39.1)	2 (1.5)	133
	河南	18(21.7)	10(12.1)	4 (4.8)	5 (6.0)	46(55.4)	0	83
	長藤・藤沢	39(27.3)	9 (6.3)	3 (2.1)	18(12.6)	72(50.3)	2 (1.4)	143
保有別	有	60(24.4)	21 (8.5)	11 (4.5)	26(10.6)	126(51.2)	2 (0.8)	246
	無	37(32.7)	15(13.3)	7 (6.2)	8 (7.1)	44(38.9)	2 (1.8)	113
計		97(27.0)	36(10.0)	18 (5.0)	34 (9.5)	170(47.4)	4 (1.1)	359

## IV 考 察

### 1 日常生活と「みどり」

#### (1) 「みどり」の満足度

「みどり」の現況に「非常に満足している」人が52%、「やや満足している人」が39%いることが問12の結果から知られた。

ところで、高遠町の人たちが「みどり」という言葉でどのような風景や場所を思い浮かべているか(問10)というところ、65%の人たちが「森林」をあげており、12%の人たちが「野原」、9%の人たちが「田や畑」をあげていることが知られた。すなわち、植生の広がりを「みどり」と考えているようなのである。それで、現状の「みどり」に満足しているということは、森林の現状に満足していることを表現しているとみなしてよく、「神社や寺の境内」(4%)、「公園」(3%)、「街路樹」(3%)、「庭・ベランダ・室内」(1%)の「みどり」についての満足度を示しているのではないと考えてよいであろう。

高遠町内の森林面積は11,886haであり、人工林面積は6,913haである。そのような森林の広がりに約半数の人たちが非常に満足しており、約2/3の人たちがやや満足しているであろう。なお、「非常に満足している」人が50%以上を占めたのは、「40～59歳」、「60歳以上」・「女性」・「河南地区」・「長藤・藤沢地区」、それに森林を「保有」している人たちであったことについて、今後もお考察を続けていかなければならないと考えている。

#### (2) 公園

最近では人工的な「みどり」に関心をもつ人も増えており、公園のある町は文化的な町であるとしている人もいる。そのような風潮のなかで、一般の人たちも公園に対して高い関心を抱くようになってきている。

高遠町で望ましい公園(問3)としてもっとも多くあげられたのは「森や林のある公園」(37%)であり、それに続くのが「池や流れのある公園」(27%)、「芝生や花壇のある公園」(24%)であって、高遠町の風土にあった公園についての特別なイメージは抱いていないようであった。

#### (3) 散歩の場所

健康時代ということで散歩やジョギングをする人が、大都市だけでなく地方でも増えてきている。高遠町のような市街地の少ないところでは、好ましい散歩の場所(問2)は当然のこととして「近くの自然」なのであり、72%の人たちがそのように答えている。しかし、「公園」をあげた人も21%おり、とくに「20～39歳」の人たちでは目立って多かった。このような若い世代では自然よりも人工をより好むのであろうか。

#### (4) 山菜採り・きのこ狩り

信州の人たちは山菜採り・きのこ狩りが大好きであり、今までの調査<sup>1,4,8)</sup>でもきわめて関心が高いという結果を得ていたが、今回の調査ではまったく意外なことに「たまに行くことがある」と回答した人が実に半数を越え、「よく行く」と回答した人は約1/3にすぎなかった(問4)。

「よく行く」という回答が35%以上であったのは、「40～59歳」・「男性」・「河南地区」・

「長藤・藤沢地区」、それに森林を「保有」している人たちにすぎなかった。また、「たまに行くことがある」という回答が50%以上であったのは、「20～39歳」・「男性」・「女性」・「高遠地区」・「長藤・藤沢地区」、それに森林を「保有」している人たちであり、「行くことはない」という回答が20%以上であったのは、「20～39歳」・「高遠地区」、それに森林の「無保有」の人たちであったことから、山菜採りやきのご狩りについても、年齢・居住地区や森林保有の有無などによって差異がみられるようになっていることが知られた。

#### (5) 身近な「みどり」の今後の利用

身近な「みどり」の今後の利用（問11）について、「こころの安らぎを求める場として」という回答が46%におよんだことはまったくの驚きであった。そして、「野草摘み・山菜採りなどの場として」（25%）が続いて、「家族や隣近所の語らいの場として」（8%）、「自然観察や学習の場として」（8%）、「散歩の場として」（8%）、「ハイキング・ジョギングなどのスポーツの場として」（5%）という結果となった。

高遠町においてもストレスに悩み、こころの安らぎを求める人が多くなっていること、そして、高遠町に住む人でも森林がこころに安らぎを与えるものになっていることが知られた。「こころの安らぎを求める場として」という回答が50%を超えているのは、「20～39歳」・「高遠地区」、そして、森林の「無保有」の人たちであった。

また、「野草摘み・山菜採りなどの場として」という回答が30%以上であるのは、「60歳以上」・「河南地区」の人たちであり、「家族や隣近所の語らいの場として」という回答が10%以上であるのは、「60歳以上」・「女性」の人たちであり、「散歩の場として」という回答が10%以上であるのは、「60歳以上」の人たちにすぎないことから、森林の中に入って森林と直接にかかわっていきこうと考えている人は高齢者だけであることについては考えなければならぬことである。

しかし、「自然観察や学習の場として」という回答が10%以上であるのが、「40～59歳」・「男性」・「河南地区」の人たちであり、「ハイキング・ジョギングなどのスポーツの場として」という回答が10%以上であるのが、「20～39歳」の人たちであることから、新しい形で森林と直接にかかわっている人たちがいることも知られた。

#### (6) 遊びに行きたい場所

「親自然」という社会風潮から、自然に直接に触れたいと考えている人が増えてきている。高遠町に住む人たちのように森林に取り囲まれている人たちがどのような自然に触れたいと考えているか（問1）についてみると、「海」と回答した人が実に45%以上におよんでおり、「山」が30%、「湖」が13%、「森」が12%の人たちによって回答されており、「森」は最下位であった。

日常的に接しているところに行くことを好む西ドイツ人やフィンランド人<sup>2,3,10,11</sup>とは異なって、わが国の人たちは非日常的なところで遊びたいのであり、高遠町の人たちもまったくそのようであって、非日常的な自然である「海」へ遊びに行きたい人がもっとも多いのである。

## 2 森林に対する心情

### (1) 森林で心ひかれるもの

森林で心ひかれるもの（問13）として、61%の人たちが「四季の変化」をあげたことにつ

いては当然であろうと思う反面、多すぎるようにも思われる。そして、「森の静けさ」(11%)、「小鳥のさえずり」(9%)、「木や土の香」(8%)と情緒的なものが続き、「木々の生長」はわずか7%の人たちによってあげられているにすぎない。

カラマツ林業地帯の中心に位置し、5,000ha以上のカラマツ人工林を造成してきた高遠町民であれば、もっと「木々の生長」と回答する人が多いと予想していたが、予想はまったく裏切られてしまった。

「森の静けさ」の回答が14%以上であったのは、「20~39歳」・「男性」・「河南地区」、森林の「無保有」の人たちであり、「小鳥のさえずり」の回答が10%以上であったのは、「60歳以上」・「女性」・「高遠地区」・「長藤・藤沢地区」、森林の「無保有」の人たちであり、「木々の生長」の回答が9%以上であったのは、「60歳以上」・「男性」・「河南地区」、森林を「保有」している人たちであることなどから、高遠町のようなところにおいても情緒的な森林意識が若齢層や女性を中心としてでてきていることや、「木々の生長」を期待する森林意識をもつ人は高齢層や森林保有者に限られてきていることが知られた。

#### (2) 森林と関係深いもの

森林と関係深いもの(問14)としての回答で、「水」(32%)が「木材」(32%)とほぼ並んであげられたことは少し気になる。たしかに水は森林と関係深いものではあるが、カラマツ林業地帯にある高遠町の人たちであれば、木材の方をより高く意識しているであろうという予想はくつがえさせられたのである。そのなかで、「男性」・「長藤・藤沢地区」、森林を「保有」している人たちは、やはり木材をより高く意識していた。また、「酸素」(14%)をあげた人も予想以上に多かった。とりわけ「20~39歳」・「男性」・「長藤・藤沢地区」の人たちたちが「酸素」をより高く意識していた。このようなことから、高遠町において町民の森林とのかかわりが単純化してきており、さらには森林との具体的なかかわりが減ってきていることを知らされた。

#### (3) 森林と関係のないもの

森林と関係のないもの(問15)として50%以上の人たちが「神秘」をあげた。高遠町の町民にとって森林はすべて明確な存在なのであろうか。50%以上の人たちが「神秘」をあげたのは、「40~59歳」・「60歳以上」・「男性」・「河南地区」・「長藤・藤沢地区」、森林を「保有」している人たちであった。

次いで「きのこ」(21%)が多くあげられたが、これは町内の森林のカラマツ人工林化に関係しているのであろうか。「きのこ」を25%以上の人たちがあげたのは、「40~59歳」・「高遠地区」、森林の「無保有」の人たちであった。

#### (4) 森林のもっている意味

森林はどのような意味で大切か(問16)については、圧倒的に多くの人が「生活環境の保全」(78%)と回答した。森林地域にある高遠町の町民の大半が「生活環境の保全」を第1位にあげる状況については、根本的に考え直さなければならない多くの問題をふくんでいる。

「木材の生産」(8%)・「自然の保全」(8%)ならびに「レクリエーション」(7%)の回答はほぼ同程度であったが、「木材の生産」について10%以上の回答があったのは、「60歳以上」・「男性」・「河南地区」の人たちであり、「自然の保全」について10%以上の回答があったのは、「20~39歳」の人たちであり、「レクリエーション」について10%以上の回答があ



ったのは「女性」であったことをみて、高遠町民にとって森林とは何なのだろうかと深く考えさせられてしまうのである。

ところで、このような森林の大切さをどうして知ったか(問17)についてみたとき、「自分の体験から」(47%)という回答がもっとも多いのにある感慨をもたざるを得ない。というのは、自分の体験によって森林は木材生産より環境保全の面で大切だとしているからである。

### 3 自然と人手

#### (1) 好ましい自然

どのような自然が好ましいか(問8)についてみると、「人手の加わった自然」(52%)と「ありのままの自然」(48%)とがほぼ半数ずつを占めている。「人手の加わった自然」の方が多いのは、「40～59歳」・「60歳以上」・「女性」・「河南地区」・「長藤・藤沢地区」、森林を「保有」している人たちであり、「ありのままの自然」の方が多いのは、「20～39歳」・「男性」・「高遠地区」、森林の「無保有」の人たちであった。

今までの山村地域での調査結果では、「人手の加わった自然」という回答がきわめて多く、日常的に手をかけてきた「ふるさと」のなじみのある自然を好ましいと考える人たちが多かったことと比べてみて、社会情勢の変化による影響の大きさについて考えさせられてしまう。

#### (2) 美しい森林の維持

森林を美しく維持するためには「人間の手を加えなければならない」か、「人間の手を加えるべきではない」か(問9)については、圧倒的に「人間の手を加えなければならない」(80%)という回答が多かった。これはやはり身近な森林での体験によって得られた結論であろう。それに対して、「人間の手を加えるべきではない」という回答は19%であったが、20%以上の回答のあったのは、「20～39歳」・「高遠地区」、森林の「無保有」の人たちであることをみると、このような体験は年齢・居住地区・森林保有の有無によって異なることを知ることができる。

### 4 親しまれている森林・樹木

#### (1) 親しまれている森林

森林は四季に応じて変化し、四季それぞれに親しまれているが、春の新緑と秋の紅葉とはとくに好まれている。どちらが好きか(問5)という問いには、63%の人たちが「春の新緑」を好むと、36%の人たちが「秋の紅葉」を好むと答えている。このように、高遠町の人たちが「春の新緑」を好んでいるのは、信州が北国であるからであろう。厳しい冬が終り、春が訪れて、新緑に輝やくころの気分には忘れられないものがあるからであろう。

#### (2) 親しまれている樹木

もっとも親しみのある樹木(問6・問7)としてあげられているのは、町内で生育しており、多くみられるマツ・サクラ・ヒノキ・カラマツ・カエデ・シラカバなどがあげられている。

## V 結 論

高遠町における「みどり」意識調査結果を、今までに行ってきた森林意識調査の結果と

比較することによって簡単な結論を示しておこう。

1 山村地域にある高遠町の人たちは、固有の森林意識をもっていた。しかし、社会風潮としての「みどり」意識が都市から流されるようになると、高遠町の人たちも都市からの「みどり」意識を受け入れるようになり、今ではその「みどり」意識が固有の森林意識よりも強いものになっている。

2 山村地域の高遠町に住む人たちの現在の「みどり」意識は森林を対象とするものであり、機能的にみると、生活環境保全機能に焦点があわされている。

3 山村地域の高遠町に住む人たちは、森林をレクリエーションの場としてはみていなく、レクリエーションの場としては海の方を高く評価している。すなわち、日常的に接している森林に対してはレクリエーション価値をあまり認めていない。

4 山村地域の高遠町に住む人たちまでもが、森林に直接にかかわっていく姿勢がなくなってきており、森林内に入らずに、森林を外から眺めるようになってきている。このようなことでは、山村地域の森林維持・管理は行われなくなるであろう。健全な山村地域の維持のためには地域住民の森林との接触を復活させ、それを通して自然や森林への愛着や知識を育てていくようにしなければならないのである。

### 参考・引用文献

- 1) 菅原聰：山村住民の森林意識の変化 「環境科学」研究報告集B333-R40-9 1987
- 2) 菅原聰：フィンランドにおいての森林環境に対する住民意識 信大農学部紀要 23(1) 1986
- 3) 北村昌美・菅原聰ほか：森林環境に対するフィンランドの住民意識について (I)～(V) 第97回日本林学会大会発表論文集 1986
- 4) 菅原聰：山村住民の森林意識 「環境科学」研究報告集B268-R40-9 1985
- 5) 菅原聰・竹内久代：森林環境に対する住民意識(III) 信大農紀要 22(2)1985
- 6) 菅原聰：森林環境に対する住民意識(II) 信大農演習林報告 22 1985
- 7) 菅原聰：森林環境に対する住民意識(I) 信大農紀要 22(1) 1985
- 8) 菅原聰ほか：山村における森林環境に対する住民意識(I)～(IV) 第33回日本林学会中部支部大会講演集 1985
- 9) 菅原聰ほか：森林環境に対する住民意識についての研究(I)～(III) 第32回日本林学会中部支部大会講演集 1984
- 10) 菅原聰・橋本久代：自然観の国際比較に関する研究(IX) 第94回日本林学会大会発表論文集 1983
- 11) 四手井綱英・菅原聰ほか：自然観の国際比較に関する研究(I)～(VIII) 第93回日本林学会大会発表論文集 1982

**Untersuchungen über den Bewohnersbewußtsein  
für Grün in Natur**  
— in Gemeinde Takato —

von **Satoshi SUGAHARA**  
Institut für Forsteinrichtung, Landwirtschaftliche Fakultät,  
Universität zu Shinshu

**Zusammenfassung**

Seitdem wir die vergleichende Untersuchung über Bewohnersbewußtsein für Wälder und Umwelt in Angriff nahmen, sind schon einige Jahre vorgangen. Mit dem Fortschritt der Untersuchung sind die Unterschiede des Bewohnersbewußtsein zwischen Städte und Dorfgemeiden klar geworden. Seit kurzer Zeit legt die Stadtbewohner mehr Wert auf Natur- und Umweltschutz. Und "Grün-gedanke" erstreckt sich auf das ganzen Land. Deshalb besteht das Ziel unserer Untersuchung in Beobachtung über den Bewohnersbewußtsein für Grün in Natur in der ländlichen Gemeinde.

Gemeinde Takato wird als der Aufnahmegegenstand nach der Einwohnerzahl auf der einer Seite und nach der Nachbarschaft der Untersucher auf der anderen Seite gewählt.

Takato : In der ungefähren Mitte von Nagano Präfektur, das in der Mitte in Japan liegt. Die von Wäldern umgebene Dorfgemeinde. Ungefähr 14,000ha Fläche, und ungefähr 8,500 Einwohner.

Proben wurden von der Liste der Einwohner genommen. Die systematische Stichprobe wurde angewandt, und Größen der Proben sind 408.

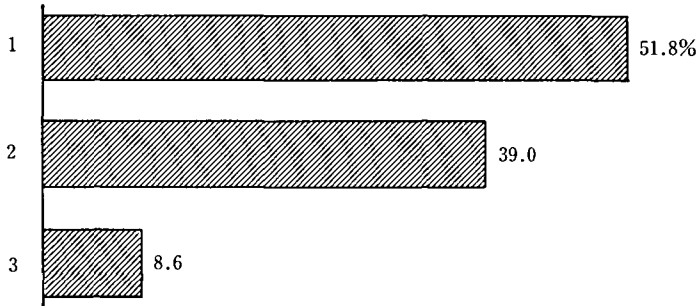
Bei Untersuchungen in Gemeinde Takato wendeten wir den Interviews mit Hilfe von dem beigefügten Fragebogen. Wir beabsichtigen, daß der Inhalt des Fragebogens möglichst gleich wie in bisherigen Untersuchungen sei, um die Betrachtungen im Gesamtzusammenhang vertiefen zu können. Bei der Ausarbeitung des Fragebogens hat uns der Verein der Forscher für Wald-umwelt in dankenswerter Weise unterstützt. Zur gleicher Zeit wurden die Umstände der Waldumwelt in Gemeinde Takato durchgeführt.

Über den Bewohnersbewußtsein für Grün in Natur erklärte es sich wie folgt:

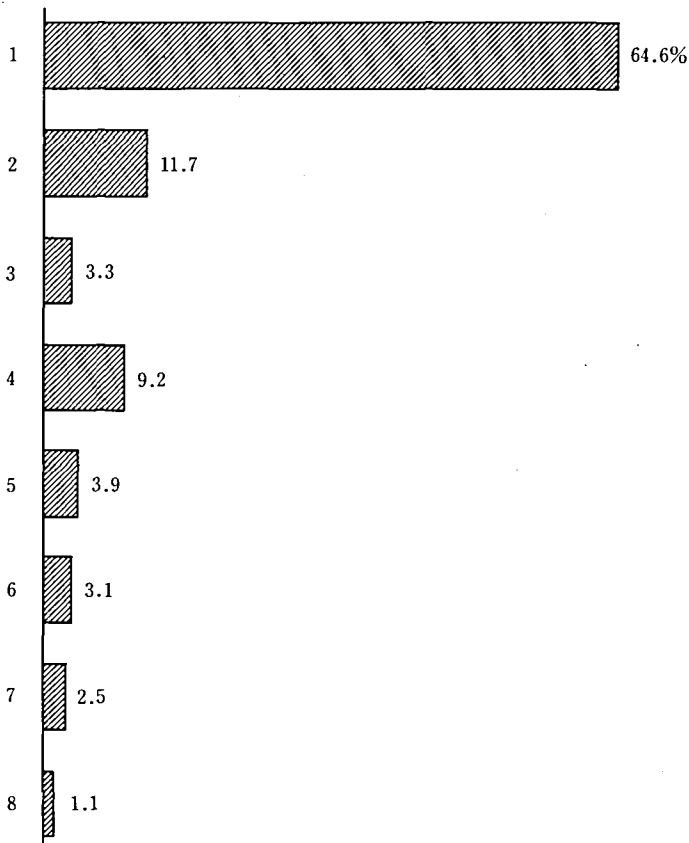
## 1. "Grün" in alltäglichen Leben

(1) Sind Sie mit Jher jetztigen Lage der Grünwelt zufrieden ?

1. Ja 2. etwas 3. Nein

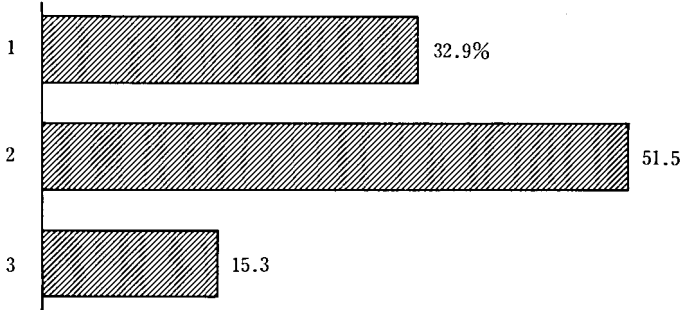


(2) Was können Sie vom Wort "Grün" erinnern ?

1. Wald 2. Grasfläche 3. Ufer 4. Ackerland 5. Tempelbezirk  
6. Park 7. Straßenbäume 8. Garten

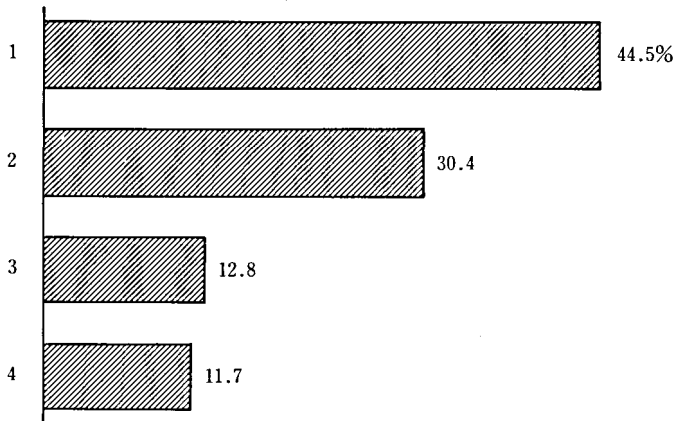
(3) Gehen Sie nach Wald oder Feld um Beeren oder Pilzen zu sammeln ?

1. Ja    2. selten    3. Nein



(4) Welchen Ort bevorzugen Sie, wenn Sie eine Tour machen wollen ?

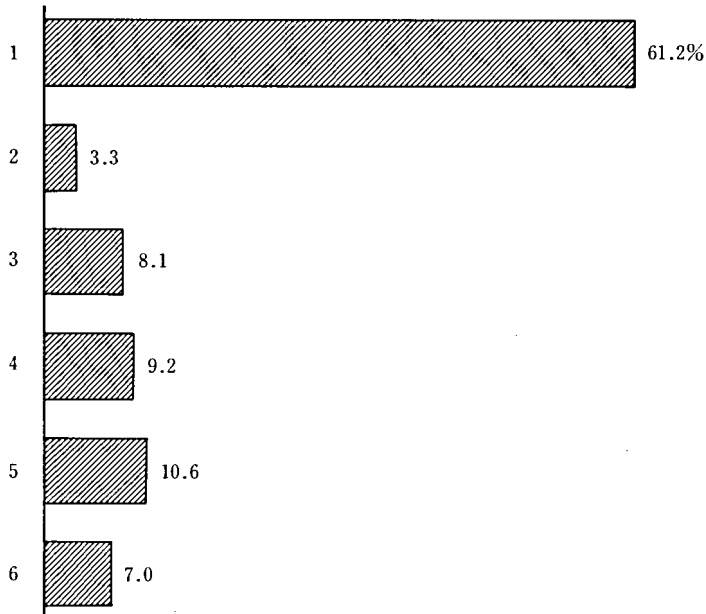
1. Meer    2. Berg    3. See    4. Wald



## 2. Gefühl für Wälder

(1) Welcher Erscheinung in Wälder finden Sie anziehend ?

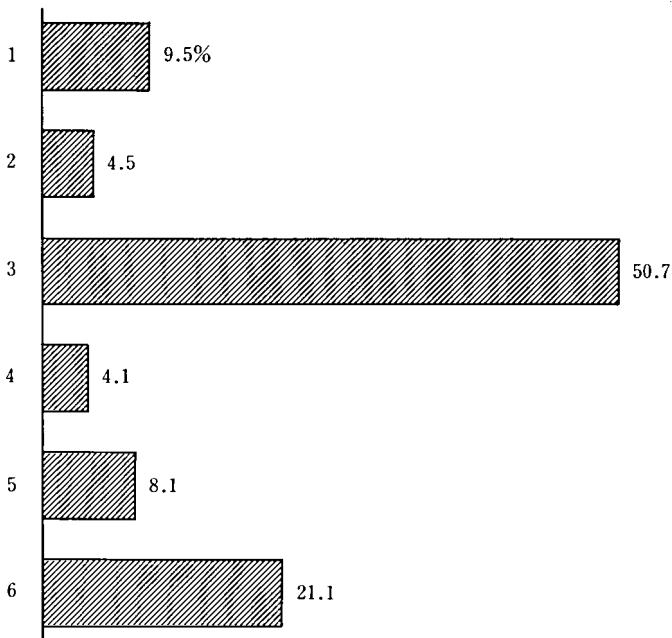
1. vierteljährliche Abwechslung    2. Fließen    3. Geruch der Bäume oder Erde  
4. Zwitschern    5. Stille    6. Wachsen der Bäume



(2) Ihre Meinung:

Welches Objekt nimmt nicht an Wälder teil ?

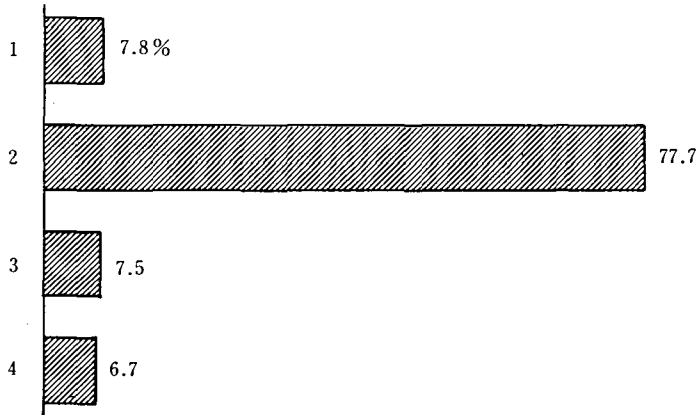
1. Holz    2. Wasser    3. Mysterium    4. Vogel    5. Sauerstoff    6. Pilz



(3) Ihre Meinung:

Welches Objekt nimmt an Wälder am stärksten teil ?

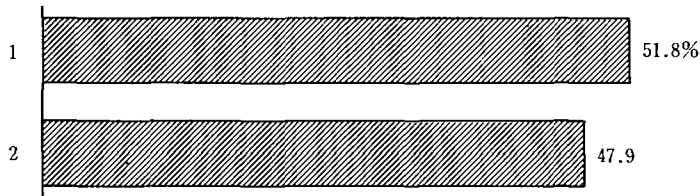
1. Holzproduktion    2. Umweltschutz    3. Naturschutz    4. Erholung



3. Eingriff der Menschen für Natur

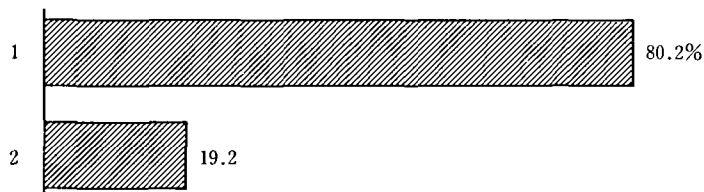
(1) Was bevorzugen Sie ?

1. Die beeinflusste Natur mit der freien Landschaft, den Äckern, Wiesen und Wäldern  
 2. Die unbeeinflusste Natur, die sich aus Urwäldern oder Ödländereien zusammensetzt



(2) Ihre Meinung:

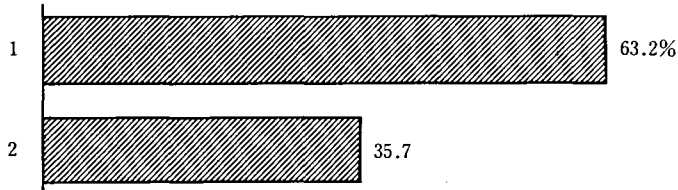
1. Wälder sollen von Menschen—zur Wahrung ihrer Schönheit—bewirtschaftet werden  
 2. sollen Wälder ohne menschlichen Eingriff belassen werden



## 4. Beliebte Wälder und Baumarten

(1) Was bevorzugen Sie ?

1. frische Grün im Frühling    2. bunte Blätter im Herbst



(2) Zählen Sie bitte fünf Ihrer liebsten Baumarten auf.

Kiefer	268	Kirsche	157
Sugi*	148	Hinoki*	141
Lärche	118	Ahorn	112
Birke	88	Kastanie	82

\* das Japanische

(3) Welche Baumart davon bevorzugen Sie am meisten ?

Kiefer	85	Kirsche	55
Birke	30	Hinoki*	27
Ahorn	26	Lärche	18
Eibe	17	Keyaki*	14

\* das Japanische